

原子力防災のしおり



目次

①原子力災害とは	1
原子力災害の特殊性	1
日常生活での放射線	2
原子力災害における心構え	3
住民への情報伝達手段	3
原発からの距離を知りましょう	4
原子力災害対策を重点的に実施すべき地域	6
②原子力災害が発生したら	8
原子力災害が発生したときに出される指示	9
③原子力災害発生時に指示が出されたら	10
PAZ (5km圏内)にお住まいの方の対応	11
└ 避難の指示が出されたら	11
UPZ (5～30km圏内)にお住まいの方の対応	12
└ 屋内退避の指示が出されたら	12
└ 一時移転・避難の指示が出されたら	13
└ 避難退域時検査の方法	14
└ 避難退域時検査場所の候補地	15
④複合災害時の対応	16
暴風雨や台風時における対応 PAZ UPZ	16
地震等により屋内退避が困難な場合における対応 UPZ	17
⑤避難所での対応	18
⑥参考	19
安定ヨウ素剤とは	19
環境放射線モニタリング	20
防災関係機関連絡先	21
もしものときに備えて(住民チェックリスト)	22

1 原子力災害とは

原子力災害の特殊性

- 放射線は目に見えず、味やにおいもしないなど五感で感じることができません。そのため、原子力災害の場合は、地震や風水害、火災などとは違い、身体への影響の程度や、どのように行動すればよいかを自ら判断することが困難です。
- 原子力災害が発生する際には、異常を知らせる何らかの前ぶれがあり、時間の経過とともに進展していきます。
- 原子力災害時には、国や県、市町からの正確な情報に従い、落ち着いて行動することが大切です。

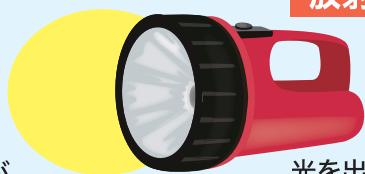


! One Point

放射能と放射線

放射線を出す能力は「放射能」、放射線を出す物質は「放射性物質」といいます。

懐中電灯に例えると



光が

放射線

懐中電灯が

放射性物質

光を出す能力が

放射能

外部被ばくと内部被ばく

放射線を体に浴びることを「被ばく」といいます。

外部被ばく

体の外から放射線を浴びること。

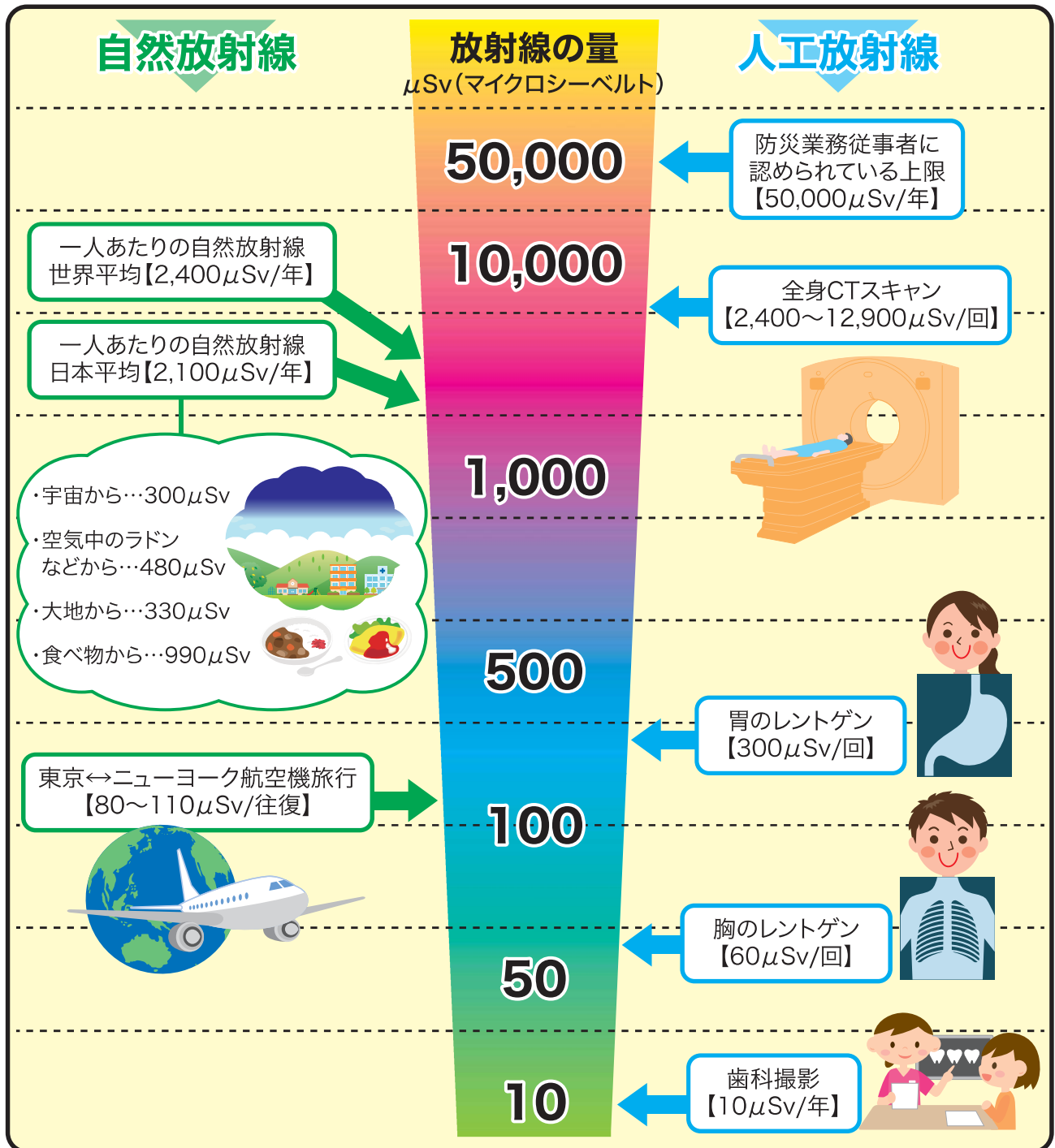
内部被ばく

呼吸や食べ物などで放射性物質を取り込み、体の中から放射線を浴びること。



日常生活の中の放射線

・私たちの日常生活の中にも、いろいろな形で放射線は存在しています。

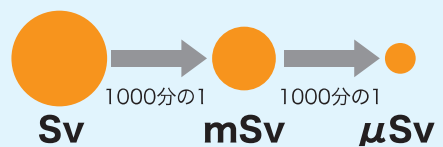


(出典)一般財団法人 日本原子力文化財団 原子力エネルギー図面集2016

! One Point

放射線の単位「シーベルト(Sv)」

「シーベルト(Sv)」とは、人体が放射線を受けたとき、人体への影響を表す放射線量の単位です。「ミリシーベルト(mSv)」や「マイクロシーベルト(μSv)」のように表記され、「ミリ(m)」は1千分の1を「マイクロ(μ)」は100万分の1を表します。



原子力災害における心構え

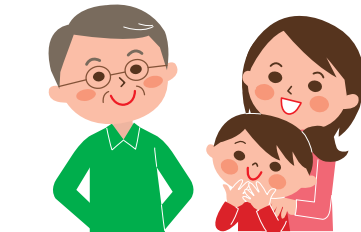
- ・災害が起こると、さまざまな情報が飛び交い、混乱が起こりやすくなります。
- ・国や県、関係市町が発表する正しい情報を確認し、指示に従ってあわてずに行動することが大切です。

うわさやデマに注意しましょう!



国や県、関係市町が発表する正しい情報をしっかり確認しましょう。

ご近所の方と情報確認をしましょう!



お年寄りや体が不自由な方には、特に声をかけましょう。

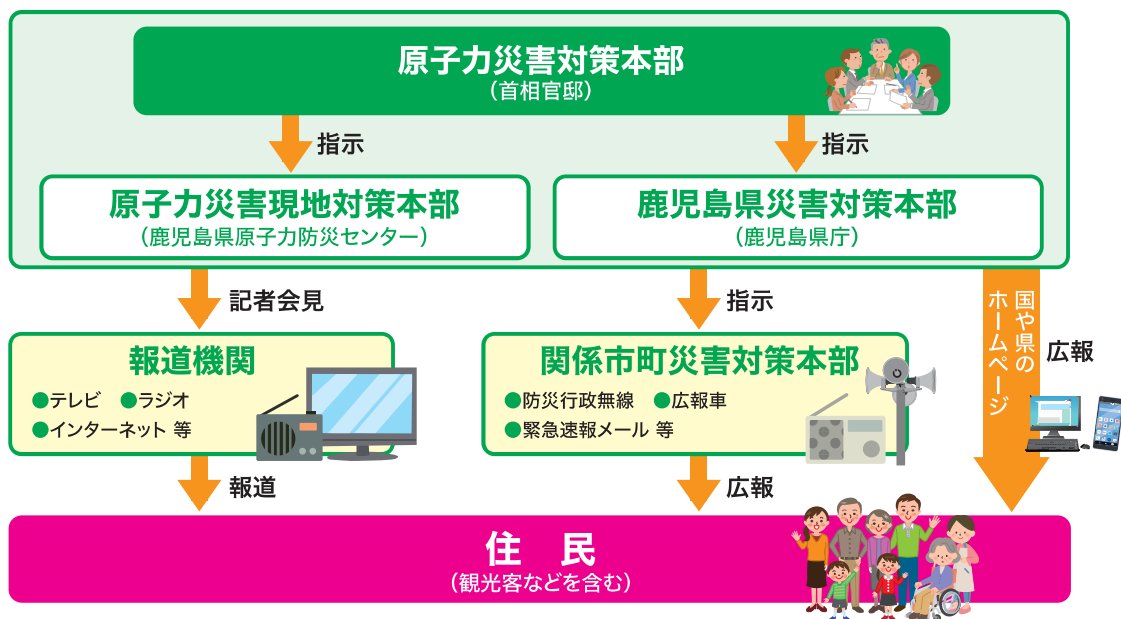
落ち着いて行動しましょう!



多くの人が集まる場所や道路では、市町の担当者や警察官などの指示に従いましょう。

住民への情報伝達手段

- ・原子力災害の情報は、テレビ、ラジオ、防災行政無線、広報車、メールなどのあらゆる手段を通じてお知らせします。
- ・最新情報やデータをこまめに確認し、すぐに行動できるよう情報収集に心がけましょう。



- 指示に従って行動してください。
- 避難中はラジオ、携帯電話、スマートフォンなどから情報を入手してください。

事故の発生日時及び概要

事故の状況

原子力発電所における対応状況

主な広報事項

行政機関の対応状況

住民がとるべき行動

避難対象区域

避難経路

避難先

避難退域時検査場所

安定ヨウ素剤の配布先



原発からの距離を知りましょう

お住まいの地域によって、原子力災害時の対応が異なります。

万が一、原子力災害が発生した場合

○川内原発から概ね半径5km圏内にお住まいの方々の対応

被ばくを避けるために、放射性物質の放出前に予防的に避難を行います。

○川内原発から概ね半径5km～30km圏内にお住まいの方々の対応

被ばくを避けるために、まずは、建物の中で屋内退避を行い、空間放射線量率が国の基準を超えた場合に一時移転・避難を開始します。

ピーエーゼット

予防的防護措置を準備する地域

PAZ 原発から5km圏

重大な事故が起きたら放射性物質放出前に

▶▶▶ **予防的に避難**

避難により健康リスクが高まる方

▶▶▶ **屋内退避施設に退避**

※放射線防護対策を講じた施設

ユーピーゼット

緊急防護措置を準備する地域

UPZ 原発から5km～30km圏

原則として

▶▶▶ **屋内退避**

空間放射線量率が国の基準を超えた地域は

▶▶▶ **一時移転・避難**

UPZ



被ばくを避けるためにとる行動

屋内退避	自宅や職場、近くの公共施設などの建物の中に入ることです。屋内退避することで、建物の気密性と放射線をさえぎる効果により放射線による影響を少なくすることができます。
一時移転	緊急ではないが、無用の被ばくを低減するため、一定期間のうちにその地域から離れることです。
避難	空間放射線量率が高い又は高くなるおそれのある地点から緊急で離れることです。

1 原子力災害とは

2 発生したら

3 指示が出されたら

4 複合災害時の対応

5 避難所での対応

6 参考



PAZ

5km

10km

20km

30km

原発からの距離を知りましょう

5